

Chance Challenge Change

柔軟な発想で試行錯誤し、変化にチャレンジ!

令和3年度
総合的な探究の時間・ぎふグローバル人材育成推進事業
岐阜聖徳学園高等学校
令和3年1月12日 11号

2年総合 沖縄のゲストティーチャーによる沖縄オンライン研修

10月23日(土)第1~2限(総合登校日)
2年生全員に、沖縄のゲストティーチャーによる
沖縄オンライン研修「SDGs(持続可能な開発
目標)の視点から、沖縄の地域の課題を探究しよ
う!」を実施しました。



クラスの中でSDGsの8つのテーマのグループ
に分かれて、各ゲストティーチャーによるオンラ
イン研修にそれぞれのグループが参加した後、ク
ラスに戻り、クラスの全員とその内容を共有しました。

ゲストティーチャー

1) 貧困をなくそう

SDGs目標	講師
1 貧困をなくそう 	(株)おとなワンサード代表取締役社長 富田 杏理 

岐阜県の貧困率は14人に1人、それに対し沖縄は3人に1人。沖縄の貧困率は増加傾向にあるため、一人一人に対して手厚い支援が出来ない状態である。沖縄は世帯当たりの子供数が多く、子供たちの学費が払えなかったり、家族を養うために進学よりも子供が働かなければいけない(ヤングケアラー)家庭が多い。そのため、教育格差が広がり、それが雇用の格差、貧困へと繋がって



る。また沖縄は観光が主要産業となっており、他に働ける企業がない。沖縄県の最低賃金が低いのも格差拡大につながっている。

現在の活動である食料品を配ることやこども食堂はあくまで対処療法である。根本的な沖縄県の社会構造を変えていかないといけない。教育を受けるお金がないことは自己責任ではなく、親世代も教育の機会が得られなかったため、その子供も教育

を受ける余裕がない家庭が多く、自己責任だけで変えられた状況ではないことを理解し、親世代を含めた細やかな援助をしていく必要がある。今後はそのような子供たちへの就職支援もしていきたい。

学んでみたいこと	貧困自体をなくするためには最終的にどうすればいいの?
質問してみたいこと	学校以外の安全な場所をつくるには 沖縄での子ども食堂の利用率 ランチサポートの様子・仕組み なぜ子供の食事をサポートするの? 貧困が原因で親も働けず、実際の成果
グループで共有できたこと	子どもの貧困 = 親の貧困、親の支援をするべきではない。

学んでみたいこと	ランチサポートから貧困をどうやってなくすの? 貧困の根本をどうやって解決するの? (最終的に) 相対的解決にはなっているの?
質問してみたいこと	学校以外の安全な場所をつくる必要はないのか? 子ども食堂の利用の様子は? (利用率は?) ランチサポートの利用の様子は? ... 一時的な支援から将来的には?
グループで共有できたこと	子どもの貧困だけでなく、親の貧困を解決する必要はない。 親の貧困を解決すれば、子どもの貧困も解決する。

2) 飢餓をゼロに

2	飢餓をゼロに	OrgaNect オーガネクト代表 島袋 優	
---	--------	---------------------------	--



有機野菜は化学肥料を使わないため大量生産することが難しい。そのため有機野菜は流通量が少なく、価格が高くなってしまいが、飢餓をなくす活動の一つとして有機野菜を増やしていきたい。その有機農業を知ってもらうために農業体験を実施している。沖縄の農家は少量多品目生産が多い。その理由は、沖縄の土壌は固く、虫が多いため、種類を絞って野菜を作ると病気ですべてがダメになってしまうリスクがあるため、多くの種類の野菜を少量ずつ生産する方法をとっている。

多くの種類の野菜を少量ずつ生産する方法をとっている。

学んでみたいこと	活動を行う上での真の思惑 食糧我に対する対策との関係が知りたい
質問してみたいこと	有機栽培の具体的なメリット そのままのものはダメか (〃) ←
グループで共有できたこと	有機野菜値段が高く、安定した 集積できない 生き残りで有機じゃなくても死ぬことはない

継続的に課題解決する。(学生の間にはよく大人になっていくこと) その問題と真剣に取り組むことの大切さを知った。そして問題を他人として見るのではなく当事者として見るのが大切なのかなと思いました。

高齢化とともに農業を
行う人が減ってきている現代
では野菜などを育てることに
楽しさや、自分自身の生きる力を
学ぶ機会はとて大切なこと
思う

4) 質の高い教育をみんなに

4	質の高い教育を みんなに	(株)グレートボヤージュ代表取締役社長 大岩 光昭	
---	-----------------	------------------------------	---



学力を上げるだけでなく、ひとりひとりに合った将来に進めるようにすることを目指している。一つの施策として、未来を作り出す面白いアイデアを持っている生徒に特待生制度を設けている。貧困を理由に若いうちにいろんな可能性を失ってしまうことは、その後の社会への影響が大きい。大学合格は通過点であり、将来どのような未来に進むのかが大切であるが、大学に行けば安定

した将来が待っているわけではない。専門学校は自分の道を決めた人が行くところで、将来の視野を広げたいなら大学に行ったほうが良いと考えている。目的を持って大学へ行くことが大切であり、生き抜くスキルをつけること、目的を持って学ぶことが大切。そして学んだことを社会に還元することで、質の高い教育を全員の子どもたちに受け取ってもらえるように努力していかなくてはならない。

学んでみたいこと	どのようなプランがあるのか 質の高い教育をするために一番大切なことは何か
質問してみたいこと	一部の人か改善するだけで 終わってしまうのでは?
グループで共有できたこと	本当に望んでいるのか 費用が足りるのか

大学に行くと何となく学費が
高いから大学に行かないという
生徒と塾生との違いは、学習の
目的は異なる。塾生は受験
のための勉強だが、大学は
将来のキャリアアップや社会
の発展のために学ぶことだ。
この違いを認識することが大切だ。

大学に向けた知識を学ぶと同時に進路の
を考えることが大切で、大学を出た後社会にどう貢献
することが重要だと分かりました。学費の10%は
出来ない環境があることが分かった。

11) 住み続けられるまちづくりを

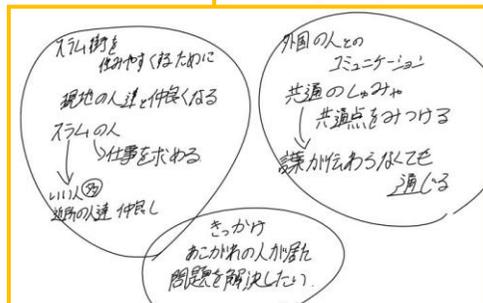
11	住み続けられるまちづくりを	HELLO WORLD(株)代表取締役社長 野中 光
		



沖縄には120か国から6万人以上の外国人が来ているが、日本人のシャイな気質や交流の場がないなどの理由から外国人を孤立させてしまっている。また経済的な理由から今の高校生は留学したくてもできない人が多い。ホームステイや留学など外国の人と交流する機会がないため、英語や異文化へ興味を持ち、楽しいと思ってもらうための、まちなか留学や料理教室を開催している。そうすることで、日本人

と外国人のコミュニティーの輪を広げ、住みよいまちづくりにつなげていきたい。また、街中の空き物件をリフォームして起業する人へ貸出し、まちの活性化へとつなげる活動もしている。起業する人の相談や支援もしている。起業するために必要なことは少しずつでいいのでまず始めることが大切。

学ぶことができたこと	<ul style="list-style-type: none"> 日本人と外国人の問題をつなげてまちなか留学を行っている 使わなくなった店をリノベーションして町をつくらせている
質問したいこと	<ul style="list-style-type: none"> まちなか留学について 大切にしていること
ゲストティーチャーからの返答	<ul style="list-style-type: none"> 文化的なこと・五感で感じる(家のおいし料理) 楽しなこと、コミュニティの輪を広げること



16) 平和と公正を全てのの人に

16	平和と公正を全てのの人に	具志堅 政幹
		



平和の定義とは、戦争の無い状態や安心安全な状態であることなど、意味の範囲が広い。平和主義は国によって定義が異なり、国の都合のいい解釈で使われているので本当にそれが平和なのか考え、注意する必要がある。公正とは、言い方を変えると民主主義社会である。民主主義社会の問題は、少数派の人権が侵害されてしまう危険性もある。少数派の意見も大切に、無視してはいけない。民主主義や人権を

守ることは今の日本では当たり前のことではあるが、それが実際はどういうことなのか、なぜ守らないといけないのかを考えることで新たな課題発見につながる。

学んでみたいこと	<ul style="list-style-type: none"> 1. 自身の高校生→沖縄の社会問題 2. 政治制度を通じた意思決定の仕組みを学び、どのような仕組みがあるか 3. 平和について 4. 平和という概念を整理した上で、日本や沖縄はどのような意味で平和なのか
質問してみたいこと	<ul style="list-style-type: none"> 3. 公正について 4. 民主主義・社会主義という仕組みについての理解
グループで共有できたこと	<p>？平和＝戦争がないこと、暴力 いじめがあったら平和じゃないのか</p> <p>正しい平和は誰か のくみまがいた</p>

学ぶことができたこと	<ul style="list-style-type: none"> 平和のほろがいろいろなことを犠牲にしている。 多数派の意見だけでなく少数派の意見も無視してはいけない。 犯罪を犯した人でも人権がある。→誰にもある。
質問したいこと	いじめがあったら平和ではないのか
ゲストティーチャーからの返答	暴力などがあたら戦争をしているのと同じ

17) パートナーシップで目標を達成しよう

17	パートナーシップで目標を達成しよう	若狭公民館 館長 宮城 潤	
----	-------------------	---------------	--



「防災/防犯」「子供の貧困」「孤立」などの地域の課題には特效薬がない。簡単に解決できないから課題になるのだが、解決するためには継続的に活動する必要がある。継続的に活動するには楽しく活動することがよい。例えば、キャンパーの人たちと連携し、防災とキャンプを合わせて、楽しいキャンプで防災知識を学ぶ。楽しく知識を得られると同時に、地域との繋がりも作る事ができる。

他者と連携するときは、相手の得意分野を大切にし、モチベーションを維持しながら活動すること、感謝と敬意を忘れないこと。また、そのような企画を作るときに何を目標としてそれやるのかのビジョンを忘れないようにすること、相手ともその目的を共有しながら活動することが大切。

学んでみたいこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分(ら)の地域にどう関わりたいか。 私(ら)若物に何ができるか。
質問してみたいこと	<ul style="list-style-type: none"> 公民館を活性化させようと思ったわけ 若者が公民館を利用したくなるような取り組みとは? 私たち若者は何をすべきか。 どんな国の人が多くて、何を目的として沖縄にいるのか。 いろいろな世代の参加者を募集する方法は?
グループで共有できたこと	<p>地域に貢献することは良いこと</p> <p>→ 何かあることに協力することから始めるのは? という話?</p>

学んでみたいこと	<p>地域を盛り上げていける秘訣</p> <p>→ 私(ら)は どう貢献 していけるか。</p>
質問してみたいこと	<ul style="list-style-type: none"> 公民館を活性化させようと思ったわけ 若者が公民館を利用したくなるような取り組みとは? 私たち若者は何をすべきか。 ネパールに焦点を当てているのは? 高齢者の方に公民館の行事をどのように伝えているのか。
グループで共有できたこと	<p>地域は大事!!!</p> <p>助け合える、関わり増える</p>

外国との増加 $\xrightarrow{\text{お互いの強さを お互い認め合う}}$ 〇 日本側の受け皿を確保し出す。 → 楽しい!!!

地域の中で 99% の課題
 ↓
 解決するの難しい。
 ↓
 住民が主体的に参画することが大切
 〇 楽しく活動をする
 〇 色んな工夫をする) 参加者が増える。

地域が強い × 活動のみはよく
 ↓
 〇 99% の人が参加し、参加し続ける。
 課題 住民との繋がりが大切。

Q 高校生の方は多い。
 木村が 1 人にかまけようとして提案するよりも、
 高校生が 1 人かまけようとして提案した方が積極的

Q 何のためにやっているのか?
 ビジョンをお互い共有する。
 お互いの強さをお互いに補完する。
 尊重し合う。 強み・弱みを分け合える。

Q 経費をどうにかして自分の国に帰りたい。
 経費をどうにかして 10-14 の 3 中 1 人が帰りたい。
 10-14 の 沖縄県の 1 の 性格が帰りたい。

Q 日本側の受け皿を確保し出す。
 日本側の受け皿を確保し出す。